



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月3日

上場会社名 株式会社関西フードマーケット 上場取引所 東
 コード番号 9919 URL https://www.kansai-foodmarket.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 克弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画室長 (氏名) 渡邊 学 (TEL) 072-744-5701
 四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	283,193	—	4,599	—	4,212	—	2,842	—
2022年3月期第3四半期	192,788	—	4,027	—	3,365	—	2,919	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,827百万円(—%) 2022年3月期第3四半期 2,873百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	48.52	—
2022年3月期第3四半期	87.81	—

(注) 2021年12月15日付で、当社を株式交換完全親会社、イズミヤ株式会社及び株式会社阪急オアシスを株式交換完全子会社とする株式交換を実施しました。本株式交換は企業結合会計上の逆取得に該当するため、2022年3月期第3四半期連結累計期間(2021年4月1日~2021年12月31日)の連結経営成績は、イズミヤ株式会社及び株式会社阪急オアシスの2社からなる連結数値であります。

2022年3月期(2021年4月1日~2022年3月31日)の連結経営成績は、イズミヤ株式会社及び株式会社阪急オアシスの2社の通期(2021年4月1日~2022年3月31日)の経営成績と、当社、株式会社関西スーパーマーケット、株式会社KSPの3社の第4四半期連結会計期間(2022年1月1日~2022年3月31日)の経営成績からなる連結数値であります。このため、当第3四半期連結累計期間と前第3四半期連結累計期間との間で連結範囲が大きく異なることから、対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	164,482	65,191	39.6
2022年3月期	147,071	64,975	44.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 65,191百万円 2022年3月期 64,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
2023年3月期	—	8.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	10.00	18.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2022年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 特別配当 2円00銭

3. 2023年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 特別配当 2円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	375,000	31.9	6,500	12.0	5,900	19.4	2,300	△72.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	63,858,804株	2022年3月期	63,858,804株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	6,066,658株	2022年3月期	4,901,624株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	58,578,619株	2022年3月期3Q	33,242,695株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「2. 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績の状況	2
2. 今後の見通し	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 経営成績の状況

▶連結経営成績

当社は2021年12月、株式交換によりイズミヤ株式会社及び株式会社阪急オアシスと経営統合いたしました。

当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、当社、イズミヤ株式会社、株式会社阪急オアシス、株式会社関西スーパーマーケット、株式会社KSPの5社の経営成績からなる連結数値を記載しております。前第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、株式交換が企業結合会計上の逆取得に該当することから、イズミヤ株式会社と株式会社阪急オアシスの2社からなる連結数値を記載しております。したがって、当第3四半期連結累計期間との間で連結範囲が大きく異なることから、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

当社の連結経営成績は、売上高283,193百万円、収益認識に関する会計基準等による影響を除外した従前の基準での売上高に相当する総額売上高は294,425百万円、営業利益4,599百万円、経常利益4,212百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,842百万円となりました。

▶会社別の経営成績

上記のとおり、株式会社関西スーパーマーケットの経営成績は当社の前年同期の連結経営成績には含まれておりませんが、経営成績の説明に有用であることから、同社の前年同期との比較に基づき、経営成績を記載しております。会社別の経営成績については、収益認識に関する会計基準等による影響を除外した数値を記載しております。

第3四半期連結会計期間である10～12月は各社で客数が新型コロナウイルスの影響緩和により前年から減少したものの、値上げの影響により客単価は上昇し、既存店売上は前年並みで推移しました。

イズミヤ株式会社と株式会社阪急オアシスでは、チェーンオペレーション徹底による利益改善を目指し、MD再構築による売上増加と粗利率改善、仕入統合による粗利率改善、店舗オペレーションの見直しによる人件費削減、経費の見直しなどの施策に取り組みました。

前年のコロナ禍における内食需要増大の反動や物価上昇が消費者心理に影響を与えたことで、第3四半期累計の既存店売上高前年同期比はイズミヤ株式会社で96.8%（客数95.5%、客単価101.3%）、株式会社阪急オアシスが93.3%（客数94.6%、客単価98.6%）となりました。

イズミヤ株式会社では、6月にデイリーカナート天下茶屋店（大阪府大阪市）、9月に千里丘店（大阪府吹田市）を改装しました。株式会社阪急オアシスでは4月に「健康」「サステナブル」「多世代共生」をテーマにした吹田SST店（大阪府吹田市）を出店し、10月に池田店（大阪府池田市）を改装しました。

販売費及び一般管理費については、2社ともに光熱費は増加し利益を押し下げた一方で、チェーンオペレーション徹底などにおいて人件費等コスト削減に取り組み、前年実績、計画ともに下回りました。

以上の結果、イズミヤ株式会社は総額売上高111,467百万円（前期比98.3%）、営業利益1,622百万円（前期比70.6%）となりました。株式会社阪急オアシスは総額売上高85,316百万円（前期比95.4%）、営業利益1,173百万円（前期比67.9%）となりました。

株式会社関西スーパーマーケットでは、「健康経営」「生産性の向上」「教育」を3つの柱とし、保健師巡回による健康相談の実施、スライド棚設置やスチームコンベクションの増設、全店店長を対象とした店長研修会の実施等の取組みを行いました。

第3四半期累計の既存店売上高前年同期比は98.3%（客数97.6%、客単価100.7%）、10～12月の既存店売上高前年同期比は101.9%となりました。改装については、4月に牧野店（大阪府枚方市）、6月に京阪大和田店（大阪府門真市）、7月に永和店（大阪府東大阪市）の3店舗で実施しました。3店舗の10～12月の売上高前年比は108.8%と好調に推移しています。

販売費及び一般管理費については、光熱費が増加した一方で、消耗品費等の見直しなどにより、前年実績、計画ともに下回りました。

以上の結果、総額売上高97,660百万円（前期比98.3%）、営業利益2,030百万円（前期比148.8%）となりました。

なお、株式会社関西スーパーマーケットの経営成績は株式会社関西スーパーマーケットと株式会社KSPとの連結数値です。また、連結上の総額売上高及び営業利益は、上記に株式会社関西フードマーケットの販売費及び一般管理費並びに内部取引消去等の連結修正を加えた結果です。

2. 今後の見通し

通期の予想については、2022年11月1日に公表しました連結業績予想からの変更はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,636	17,934
売掛金	11,665	15,494
商品及び製品	6,756	7,494
原材料及び貯蔵品	143	149
短期貸付金	1,925	8,806
未収入金	6,866	7,105
その他	1,670	1,939
貸倒引当金	△94	△160
流動資産合計	38,569	58,764
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,992	32,313
機械装置及び運搬具（純額）	1,084	1,134
土地	42,804	42,804
建設仮勘定	98	-
その他（純額）	4,237	4,255
有形固定資産合計	81,218	80,507
無形固定資産		
のれん	2,197	1,817
その他	1,611	1,566
無形固定資産合計	3,809	3,384
投資その他の資産		
投資有価証券	1,220	1,226
長期貸付金	3,156	3,023
差入保証金	12,792	12,629
退職給付に係る資産	990	1,067
繰延税金資産	4,660	3,317
その他	658	566
貸倒引当金	△5	△4
投資その他の資産合計	23,473	21,827
固定資産合計	108,501	105,718
資産合計	147,071	164,482

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,209	40,502
短期借入金	8,000	9,702
1年内返済予定の長期借入金	886	136
未払金	7,467	7,034
リース債務	955	863
未払法人税等	1,293	274
前受金	1,745	1,823
賞与引当金	1,471	548
その他	10,661	13,815
流動負債合計	55,691	74,701
固定負債		
長期借入金	1,115	1,057
役員退職慰労引当金	75	82
退職給付に係る負債	4,425	4,393
リース債務	10,367	9,736
長期預り保証金	3,939	3,821
資産除去債務	2,229	2,188
繰延税金負債	4,041	3,138
その他	209	171
固定負債合計	26,405	24,590
負債合計	82,096	99,291
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,862	100
資本剰余金	54,671	63,373
利益剰余金	8,365	11,207
自己株式	△7,423	△8,973
株主資本合計	65,476	65,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	39
土地再評価差額金	△479	△479
退職給付に係る調整累計額	△54	△75
その他の包括利益累計額合計	△500	△515
純資産合計	64,975	65,191
負債純資産合計	147,071	164,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	192,788	283,193
売上原価	130,134	195,850
売上総利益	62,653	87,343
販売費及び一般管理費	58,626	82,743
営業利益	4,027	4,599
営業外収益		
受取利息	17	18
受取配当金	0	23
その他	133	263
営業外収益合計	151	305
営業外費用		
支払利息	284	243
グループ運営負担金	404	298
その他	123	150
営業外費用合計	813	692
経常利益	3,365	4,212
特別利益		
固定資産売却益	164	14
負ののれん発生益	231	-
特別利益合計	396	14
特別損失		
固定資産除売却損	88	63
店舗等閉鎖損失	12	24
減損損失	80	-
特別損失合計	181	87
税金等調整前四半期純利益	3,581	4,139
法人税、住民税及び事業税	617	845
法人税等調整額	44	452
法人税等合計	661	1,297
四半期純利益	2,919	2,842
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,919	2,842

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,919	2,842
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	6
退職給付に係る調整額	△45	△21
その他の包括利益合計	△45	△15
四半期包括利益	2,873	2,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,873	2,827
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。